

# ユニオン止水〔1M〕 施工要領

二瀬窯業株式会社

## 施工方法

- ①下地処理:コンクリート躯体の漏水部はVカットにはつり、その突起物、不良箇所、油分、汚れなどはブラシ、サンダーなどで適切に処置してください。
  - ②練り混ぜ:ゴム手袋を使用し、ムラのないように十分に練り混ぜを行ってください。  
練り混ぜは、練りボールに1回で使い切る量のユニオン止水〔1M〕を入れて行ってください。  
ユニオン止水〔1M〕は、練り混ぜから約1分で硬化(気温20℃)し、1時間後には実用強度に達します。
  - ③標準加水量:ユニオン止水〔1M〕に対する水の割合は30%です。
  - ④充填作業:練り上げたユニオン止水〔1M〕をゴム手袋に受け、ダンゴ状に丸め充填箇所に埋め込んでください。  
漏水箇所の止水の場合は、硬貨開始直前に漏水源のまわりから埋め込んでください。最後にコテにて構造体と合わせてください。
- ※漏水が多い場合は、ビニールホースで集中排水を行い、周囲が硬化したところでホースを抜き、最後に穴に充填してください。

※硬化するときに40～50℃に発熱しますので、手で直接触らないでください。

## Vカット充填部の使用量

ユニオン止水〔1M〕(5kg×4個=20kg)1箱あたり(水/ユニオン止水〔1M〕=30%)

幅(cm)	深さ(cm)	1mあたりの容量	伸び量
3	3	0.45ℓ	29.3m
5	5	1.25ℓ	10.5m
10	10	5.0ℓ	2.6m

## 施工上の注意

- ・気温が5℃以下の場合や5℃以下になる恐れがある場合は、施工を中止するか、適当な保温処置を行ってください。
- ・施工中や施工後に降雨、降雪の恐れがある場合は施工を中止してください。
- ・現場にて、水以外の材料は一切混ぜないでください。
- ・セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常はありません。

## 使用上の注意

- ・取り扱い時には必ず保護具（保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等）を着用してください。
- ・取扱いは換気の良い場所で行ってください。
- ・取り扱い後は、うがい、手洗いを十分に行ってください。
- ・取り扱いの器具は、早めに洗い流してください。

## 応急処置

- ・目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合：直ちに水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・誤飲した場合：多量の水を飲ませて吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

## 保管上の注意

- ・雨露のかからない、湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- ・本材料の品質保持期限は、製造後約1年です。

## 輸送上の注意

- ・内容物の漏れがないことを確認して、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行ってください。

## 漏出時の注意点

- ・飛散したものは掃除機等で吸い取るか、スコップ、ほうきなどで集め、袋などに回収してください。
- 排水は、中和、希釈処理などを行い、河川などに直接流出しないようにしてください。